

ジェンダーと開発



*SDGsの17の目標のうち、関連のあるものを示しています。

ジェンダー平等と女性のエンパワーメントの実現を目指して

課題の概要

ジェンダーとは、社会的・文化的に形成される性別のことで、男女の役割やその相互関係を含む意味合いを持ちます。

一般に、社会における固定的な男女の役割や責任は、その地域の人々の価値観、伝統、慣習などによって無意識のうちに規定されていることが多く、各種政策や制度、組織などもその影響を受けています。また、社会通念やシステムは、男性の視点に基づいて形成されることが多いため、不平等が内包されていることがあります。

持続可能な開発目標(SDGs)では、ゴール5「ジェンダー平等、すべての女性・女児のエンパワーメント」は17のゴールのなかの独立したゴールであるほか、「すべてのゴールとターゲットの進展において決定的に重要な貢献をする」横断的課題として認識されています。

JICAは、事業のあらゆる段階で、社会における男性と女性の社会的な役割の違いや力関係によって生じる課題やニーズを踏まえ、ジェンダーの視点を組み込んでいく「ジェンダー主流化」を推進することで、ジェンダー平等と女性・女児のエンパワーメントの実現を目指しています。

JICAの取り組み

JICAは、ジェンダー平等な政策・制度の構築支援、また、母子保健、女子教育や女性企業家支援など女性・女児のエンパワーメントの推進【→ 下事例を参照ください】、女性・女児に対する暴力への対応のための能力強化、人身取引被害者の保護・自立支援などに取り組んでいます。

同時に、平和構築、農業、自然環境保全、防災、ガバナンス、インフラ開発など、その他の多様な分野においても、事業を通じて達成すべき成果や活動のなかにも、ジェンダー平等の視点を組み込んで事業を実施しています。

例えば、スーダンでの技術協力プロジェクト「ダルフル3州における公共サービスの向上を通じた平和構築プロジェクト」では、保健、給水、雇用セクターのパイロットプロジェクトへの女性の参加とリーダーシップの促進のほか、「女性と平和委員会」を通じた平和構築プロセスへの参加を推進しています。

また、インドでの円借款事業「ラジャスタン州水資源セクター生計向上事業」では、従来、女性の参加が限定的だった水利組合活動へ女性農民の参加を促すとともに、女性農家の生計の向上や女性の社会経済活動への参画促進に貢献しています。

アジア地域 日本ASEAN女性エンパワーメントファンド

マイクロファイナンスによる女性のエンパワーメントへの貢献



マイクロファイナンスを利用し、起業した女性

女性の経済的自立へ向けた支援の一つとして、JICAは2016年から、ASEAN諸国を中心としたアジア地域における女性に焦点を当てたマイクロファイナンス(主に貧困層・低所得層を対象とする小規模金融)を取り扱う組織向けのファンドへ出資をしています。この出資は、女性の金融アクセス改善に向けた取り組みを促進し、域内の貧困削減や女性のエンパワーメントに寄与することを目的としています。

例えば、あるシングルマザーが、このファンドから資金支援を受けている

マイクロファイナンス機関から融資を受けて耕運機を購入したところ、農作業の効率化が図られ、収穫高が増加した事例がありました。また、融資を受けた女性が、農業の傍ら絹織物の製造事業を開始した事例など、本ファンドは女性の生計安定や経済活動に貢献しています。

こうした女性の金融サービスに対するニーズに応えることで、女性の市場経済への参加を促し、女性のエンパワーメントに貢献しています。